

服装や持ち物

ヤゴ救出の日は、水が30cmくらいのこったプールで作業をします。

プールサイドやプールの中では、すべりやすいので絶対に走らないでください！
はだしやビーチサンダルは絶対にダメです。長くても動きにくいのでやめましょう。

◎服装や持ち物

- ・ぬれても良い服（体着など） ・タオル
- ・ぬれても良いすべりにくい運動ぐつ
- ・着がえの服、くつ下、下着など（全身ぬれる場合があります）
- ・ビニール袋（ぬれた服などを入れる）
- ・ぼうし（日差しが強いとき） ・軍手（予備で）
- ・ヤゴを持ち帰るための入れ物（ペットボトルなど）

◎かたづけ

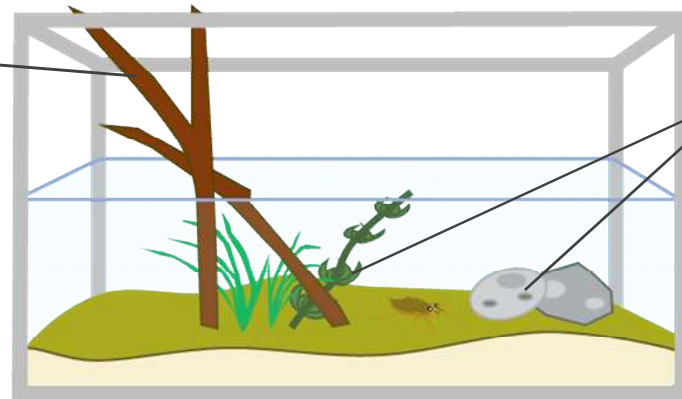
- ・よごれた手足を洗い、着がえて、ぬれたくつなどをかたづける。
- ・つかまえたヤゴは、持ち帰り、大切に育てよう。
- ・その他の水生昆虫は近くのビオトープなどの池に放してあげよう。



さくねん ようす 昨年の様子(御成門小学校)

ヤゴの飼い方

木のえだ
(羽化のとき足場になる)



石や水草
(ヤゴがかくれる)

わりばし

●水
水道水でも大丈夫ですが、一日くみおきた水が安心です。
エサやフンで汚れたら、かえてあげましょう。

●エサ
ヤゴは生きたものをたべます。イトミミズやアカムシなどをあげましょう。
イトミミズなどはペットショップで用意しなければなりません。家で飼うときはお父さん、お母さんに聞いてから飼うようにしましょう。

●ペットボトルを使った容器
ペットボトルを下から10cmくらいの高さで切り取ります。羽化するためのわりばしを容器にはさんだら、できあがりです。

※共食いをしてしまうので容器に入れるのは1匹にしましょう。



プールのトンボ

